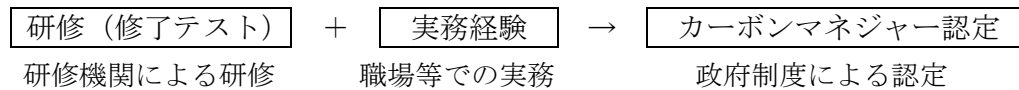


カーボンマネジャー認定制度の概要

政府の「新成長戦略」の「国家戦略プロジェクト」では、今後成長が期待される分野（カーボンマネジメント、介護、6次産業：農業）において実践的な職業能力の評価・認定制度（キャリア段位制度）を構築し、育成プログラムを整備しようとしています。この中の成長が期待される分野のひとつとして、省エネ・温室効果ガス削減等に関する人材（カーボンマネジャー）育成が位置づけられています。カーボンマネジャーには7段階のレベルが設定されており、このうちレベル1から4は研修と実務経験により認定される予定です。



今回募集する「カーボンマネジャー研修 レベル1、2」は、来年度予定されている本格的なカーボンマネジャー育成に向けての実証事業です。生活・福祉環境づくり 21は実証事業を行うための機関として内閣府から選定されています。本研修修了テスト合格者は、暫定的に研修修了者としてのレベル認定が行われます。本研修の研修評価基準が来年度以降の本格的実施と同様と認められた場合、正式な研修終了者としてレベル認定が行われます。

また、レベル2以上は更に職場等で実務経験を積むことによってカーボンマネジャーとしての認定が行われる予定ですが、実務経験の評価基準は本年9月を目途に作成される予定です。

各レベルの内容

各レベルは以下の内容となっており、上のレベルを目指すにはその前のレベルが修了しているか、同等の能力があることが前提となります。生活・福祉環境づくり 21で研修を行うのはレベル1、2になります。

レベル	概要	人材のイメージ
1	「各種制度、代表的手法などを理解できる」 ・省エネ・温室効果ガス削減等に関する各種制度、代表的手法などが理解できる。	・施設管理部スタッフ ・エネルギー・環境・CSR 担当部スタッフ ・総務部スタッフ・営業マン ・法務部スタッフ
2	「基礎技術を実践できる」 ・自社における中・小規模設備のエネルギー管理ができる。 ・事業主体全体（エンティティベース）の排出量が算定できる。	・施設管理部スタッフ ・エネルギー・環境・CSR 担当部スタッフ ・総務部スタッフ
3	「応用技術を実践できる」 ・自社等における中・小規模設備のエネルギー管理ができる。 ・特定の事業（プロジェクトベース）での削減量が算定できる。	・施設管理部スタッフ ・エネルギー・環境・CSR 担当部マネジャー ・営業部マネジャー
4	「自社等において責任をもって、チームへの指示・指導を実践できる」 ・自社等における大規模な設備のエネルギー管理ができる。 ・カーボンマネジメントに関する総合管理、戦略策定、内部審査、検証等ができる。 ・人材の評価・育成ができる	・経営企画マネジャー ・エネルギー・環境・CSR 担当部マネジャー
5	「他社への有料サービスの提供を実践できる」 ・他社の不特定多数の設備のエネルギー管理・診断ができる。 ・多くの分野での排出削減計画等の策定支援など。	・コンサル会社のコンサルタント ・メーカー、ESCO 会社のシニアスタッフ ・審査機関の審査員
6	「他社への専門・高度なサービスの提供」や「他社同士の連携の支援・調整」などを実践できる。	・専門法人に所属する高度専門家（審査登録機関の主任審査員）
7	「トッププロフェッショナル」としての能力を有する。	・有識者 ・コンサル会社のシニアコンサルタント